

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	大竹市立大竹中学校	校長	十亀琢磨	生徒指導主事	井手正典
-----	-----------	----	------	--------	------

取組事例名	『ハートプロジェクト』
-------	-------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「企画・想像力」	3	「主体性・積極性」	2	「人としての思いやり」	1

取組のねらい					
--------	--	--	--	--	--

- ・生命尊重の日だけでなく、1年間を通して命の尊さ、大切さを感じ、考える。
- ・クラスで話し合ったことを自分たちでまとめて全校に発信する。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『各教科とのリンク』
<p>H28～生徒会提案で、生徒によるハートプロジェクトが始まり、クラスごとに、命に関わるテーマで話し合ったことを全校に発信するようになった。</p> <p>3年1組 「世界で一番強い国」： 戦争の話を通して、強さとは何か？幸せとは何か？を考えることができた。</p> <p>3年2組 「臓器提供を考える」： 臓器提供意思表示カードや移植手術について学習することで、自分だけでなく家族の命や気持ちについて考えることができた。</p> <p>3年3組 「大切な誰かの命を守るために」： 桐田明日香さんの話を通して、人が倒れている時には迷わずAEDを使用しなければならないことを知ることができた。</p> <p>2年1組 「ねえだれか教えて」： 動物の殺処分について学ぶことで動物たちの命の重みについて考えることができた。</p> <p>2年2組 「いきのびる魔法～いじめられている君へ～」： いじめの被害者の立場について学ぶことで、どんな時でも命を最優先に考えなければならないことを学ぶことができた。</p> <p>2年3組 「生きるって何？」： どんな状況になっても諦めずに生きること、相手の立場を考えることの大切さを学ぶことができた。</p>	<p>「世界で一番強い国」は、社会で習った戦争の事やウクライナ情勢についても学習した。</p> <p>「臓器提供を考える」は、道徳の臓器提供意思表示カードについて、「大切な誰かの命を守るために」は、保健体育で学習した心肺蘇生法とリンクさせて考えることができた。</p> <p>「ねえだれか教えて」「生きるって何？」は道徳で習ったことをさらに深く考えて発表した。</p> <p>「いきのびる魔法～いじめられている君へ～」はSOSの出し方教育から多くの事を学ぶことができた。</p> <p>これらのように、各教科で習ったことを更に深く考えることで、クラスの仲間たちの考えをプロジェクトチームのメンバーがまとめ、全校生徒に発信し、命の大切さについて毎月考える機会を作っている。</p>



取組の成果と課題

学校評価アンケート「生命尊重の取組や道徳の授業、避難訓練、犯罪防止教室等で命の大切さを学んでいる」の肯定的評価

R 2 前期 95.7%→後期 97.1%、R 3 前期 95.7%→後期 98.6%、R 4 前期 94.3%→後期 93.8%

毎年、95%前後の高い肯定的評価になっているが、今年度は1、2年生の肯定的評価が低かった。

次年度は、更に教科とのつながりを強めて、命の尊さについて考えを深めさせたい。